

OBの甲子園

村松 友視 題字も

イラスト／灘本唯人

私の母校である静岡県立静岡高校が、甲子園大会に出場することになった。毎年、県大会の予選の時期になると、どうも気が落ち着かなくなる。かつては「文武両道」を謳い文句とする我が母校は、勉学と体育の両面における羽振りを誇り、甲子園大会優勝の記録もある（もつとも、それは今から七十三年も遡る大正十五年のこと）。

ところが、最近は「文」すなわち勉学の方面はともかく、「武」すなわち体育の象徴である野球の成績が芳しくなかつた。県大会の予選なども油断できず、名前も知らない学校に一回戦で敗れることも出来するありさまだ。そこでなるべく応援に出かけるようにしているのだが、私が行つて勝つたのは一度くらいで、「敗け男」みたいなイメージまでついてしまった。

母校の先輩である山川静夫さんなどは、県予選から甲子園大会あたりまで、毎年スケジュールをあけているという気の入れようだが、無理矢理あけたスケジュールが無駄になるケースの連続だつた。

ところが、今年の春の選抜大会につづき、静岡高校が何と夏の甲子園大会出場まで決めてしまつたのだ。つまり、春夏制覇というやつである。こういうことは、関係のない人には馬鹿みたいな事だが、関係のある人間にとっては一大事であり、いま私は一回戦の倉吉北高との対戦を前に、やや興奮気味にこの原稿を書いている。

私は、今年の夏の県予選には一回だけ応援に行つた（山川先輩は、全試合に足を運んだのではなかろうか）。私が行つたのは準決勝の対掛川西校戦……これが実質的な決勝だろうと言われた試合で、いやなかなか緊迫した試合だつた。けつきよく、二対〇でここを切り抜けると、決勝戦は十五対一で圧勝し、甲子園へと駒を進めたというわけだ。

その準決勝の日、私は朝六時に静岡の友人宅へ電話を入れ、その日の天候を聞いた。時どき雨が降るらしいが、まあ決行するだろうというので、七時四十五分の新幹線で静岡へ向つた。駅前に車を停めて待つていてくれた友人とともに球場へ行つた。



頃は、カンカン照りになっていた。傘は不用となつたが、スタッフに陣取つた私は、首にタオルを巻き、帽子をかぶり、サングラスをかけてグラウンドに目を向けた。

先発するエース高木がピッチングをしていたが、なかなかの風格だった。試合は、あきらかに我が母校が有利に進めていき、最終回にちよいとした波乱があつたものの、けつきよくは勝利をものにした。心配した雨が上つたことも不思議だつた。何しろ私は有名な雨男であり、出かけて行けばかならず雨が降るのが常だつたのだ。ところが、今回は荒れ模様の空がすっかり澄み切り、強い太陽が照つて絶好の野球日和となつた。すべてがうまくいったわいと、友人と昼めしを食べながらビールで乾杯し、試合結果をあれこれと批評して盛り上つた。

「それじゃ……」

と席を立つ友人を不思議そうに見上げると、

「きょうは日曜日じゃないんだから、仕事があるんだよ仕事が」
友人はあきれ顔を残して店を出て行つた。時計を見るとまだ十二時半、いつもなら朝昼兼用の食事をするあたりの時刻だ。だが、昼間から一人で酒を飲むわけにもいかず、私はすごすごと駅へ向い、ふたたび新幹線で東京へ帰つた。新幹線の中では腕を見ると、思い切り陽にやけて真っ赤になつていた。
次の日、腕がさらに赤くなつて腫れあがり、火傷の様相を呈してきた。その火傷がようやく治つて、いま皮がむけてきたところだ。その腕の痒さをこらえつつ、母校の勝利を祈つて原稿を書く……いや、美しくなくとも、それが私の夏を過す私の姿なのだ。さて、甲子園出陣後の静岡高校は、いつたいどのよくな顛末をたどるのだろうか。

KOBECCO'99

うすい

ひろこ

（紙コップアーティスト）

紙コップで人とのつながりを



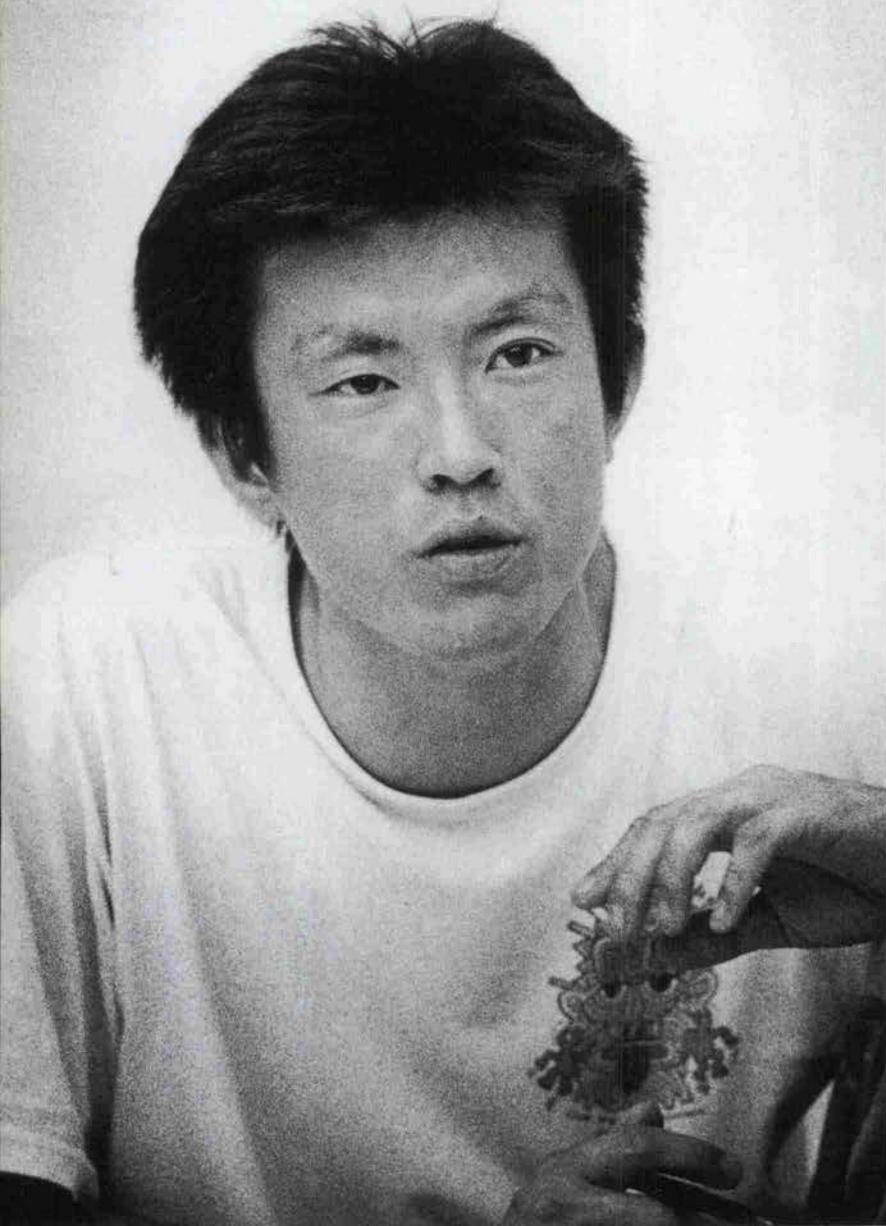
鷲本昭三研究所アトリエにて 撮影／米田定哉

「アートはワクワクやドキドキを与えるものでなくちゃ」。これまでも「千人で話せる糸でんわ」や風船に乗り地上の人と話す「空中糸でんわ」といったユニークなバフォーマンスを繰り広げてきた紙コップアーティストの「OOO」こと、うすいひろこさん。「糸でんわって超アナログ、だけど『コミュニケーション』としてはすごく新しい」。

つい二年前までは美術大学を志す浪人生だった。予備校では「みんなが同じ絵を描いて気持ち悪かった」。ある日、図書館で世界的な前衛芸術家、鷲本昭三さんの著書を読み、共感。そのまま故郷茨城県をでて、鷲本さんに弟子入りした。「誰もやつてないことをやれ」という鷲本さんの言葉に、「どこにでもある、身近なものを」と紙コップを思い付いた。

「ありきたりのものをありきたりでなくする」「創造の楽しさと可能性が紙コップにはあった。例えば、数百の紙コップを球形につないだオブジェは「二十一世紀をみる百の眼」を表現する。頭にかぶり、紙コップ人間々に変身して街を歩く。「美術館だけがアートを楽しむ場じゃない。見る人が自由に参加して楽しめるように」。この精神が「OOO」の作品に息づいている。最近は、紙コップを糸でつないで音響装置や楽器を作るワークショップを行ったり、使用後の紙コップに植物の種を植えメーラートとして送るなど音楽やエコロジーの、予想外の分野の人とのつながりも増えた。「人との出会いからアイデアが生まれる。これからも創造と発見の繰り返しですね」

（宇都宮）



KOBECCO'99 吉村シユークリーム
神様がトビラ

劇団赤鬼代表

神様がトビラを開いてくれた神戸で

「神戸から飛び出したホットぶれせんたーず」をキャラッチコビーに「劇団赤鬼」を旗揚げして三年が過ぎた。当初二百五十人ほどだった観客動員数が今年は十倍の二千五百人を超えた。「何があるのか見えないけれど、もっと上を目指していかないと」。現状に甘えることはない。

中学でサッカー、高校では水泳、桜戸大
学教育学部に進学してからもアメフト部で
泥にまみれる体育会系だった。そんな彼が
芝居と出会ったのは、アメフトの練習の帰
り道。演劇部の張り紙に心が動いた。「君も
スポットライトを浴びてみないか!」。クラ
スのリーダー格であり、父親の教師姿に憧
れ、大河ドラマに夢を見ていた彼は十九才
の夏、方向転換を図った。

劇団では脚本、演出、俳優と何役もこなす。団員に求めるのは自発的に考える力。「脚本を作った僕よりもその役を知り尽くして欲しい」。書き下ろす台本には歴史に残らない人たちにスポットを当てることが多い。「歴史に残らなくても誰かの胸には、その人の人生が刻まれていると思うから」。震災の経験も表現できる力がつけばいつの日にか舞台にと考える。

新神戸オリエンタル劇場リハーサル室にて 撮影／木田央男

共感、共鳴、共笑、共泣。劇団の芝居は必ず観客を思いつきり笑わせ、泣かせてくれる。「わかりすぎる芝居だと言われることがあります。ですが、わかつてもらわなければ伝わったことにはなりませんよね。阪神・巨人戦の五万人よりももっと多くの人に見てもらいたい」。十二月の本公演を前に今日も夜中まで見えない壁との格闘は続く。(前田)



←「ヴィッセル神戸選手激励会」
神戸の市民サッカーチーム「ヴィッセル神戸」の99年
リーグ戦成績は、5勝1分9負(12位)
員49088人。セカンドステージ開幕前の7月
16日、選手の激励会が相楽園で開かれた



←自衛隊との集い

震災を機に始まった市民と海上自衛隊の集い。7月
17日の夜、生田神社会館で定期総会が開かれた
(田崎俊作会長を囲んで)

→二回会入選者祝賀会

第46回関西二回会・神戸二回会の入選者祝賀会が、6月30日午後6時より東天紅で開かれ、
同人、一般、初入選の人々が紹介された



↑市川猿之助大入成功祈願

松竹座9月、10月公演、スーパー歌舞伎「新・三国志」の大入成功祈願に、6月17日の夕暮れ、
市川猿之助が演じる主人公「關羽」を祀る「關帝廟」に、市川笑也と共に名古屋公演から駆け
つけ参拝。震災から美しくよみがえった「關帝廟」で地元の華僑の人々が大歓迎

K O B E コウベスナップ S N A P



←「松酒家四代」
松酒家が82周年を迎え、「ああ、万事萬翁がお
んなな」を、三代目ワドノ葉宇子さんが文藝社か
ら出版。7月5日出版記念会を松酒家で開いた。
笛山市長を囲んで、二代目札栄さん(右)、三代目葉
字子さん(中)、四代目里絵さん(左)



↑「円虹」5周年
平成7年創刊の句誌「円虹」が5周年を迎え、主宰の山田弘子
さんを祝う日が、7月8日ホーリオーラ神戸で開催。子供たち
の俳句にも力を入れる山田さん、沖縄から来神した子供たち
とともに



↑戸谷さん安らかに
元姫路市長の戸谷松司氏が、6月26日に病氣のため逝去。
城を世界文化遺産に、姫路市を文化的な都市に創り上げた功績
は大きい。合掌



↑華やかに35周年
35周年を迎えた若柳吉金吾師(金鈴会)が、7月
3日・4日、新しい「こくさいホール」で、人間
国宝の中村禡治郎丈をゲストに迎え盛大な記念
舞踊会を開催した。写真は義太夫「吉野山」の
静を演じる中村禡治郎丈と忠信を演じる若柳吉
金吾師が出演前に



→各会場で神戸まつりにぎわう

今年も多くの人でぎわった神戸まつり。各会場ではそれぞれに個性的で楽しいパフォーマンスが繰り広げられた（写真左・ふれあい中央カーニバル、写真右・バラエティステージ）

→ITC世界大会開かれる
7月18日、神戸ポートピアホテルにてITC世界大会が盛大に開かれた。開会式では高円宮妃殿下が流麗な英語でのスピーチを。貝原兵庫県知事、山下神戸市助役からお祝いの言葉が述べられた

←サンバ交流会
7月17日、神戸まつり初日の午後2時から、神戸市とりオ市の姉妹提携30周年を祝って、デュオいうべ広場でサンバ交流会を開催。リオからやってきたサンバの王様と垂山市長の記念品の交換の後、サンバ広場は盛りに包まれた



K O B E コウベスナップ S N A P



→もともち夏の風物詩
7月27日の夕べ、恒例の元町夜市が11日目から6丁目まで満員で大繁盛。ゆかた美人も勢揃い



↑最先端のネイルアーティストが集合

7月20日六甲ファッションマートにて「99ネイルフェスティバル」が開催された。400名近いネイルアーティストがコンテストに参加し、専門学校生によるファッションショーなど華やかで繊細なネイルアートが数々披露された



→子どもの頃のワクワクする気持ちがいっぱい
北長狭ギャラリーでわくくん（浦崎亮己さん）の個展が開かれた。少年の気持ちのいっぱいにつまつた楽しい作品がギャラリーに並び、連日多くの人が詰め掛けた



→モーツアルトの世界へ誘う
11月5日に神戸松方ホールにて開かれる「アンサンブル・神戸」の定期演奏会「桂小朝と巡るモーツアルトオペラリアの世界」に向けて、ソリストオーディションが7月8日行われ10名のリストが選ばれた



←コンチエルト2周年
7月18日、ミュージック・グルメ船「コンチエルト」が2周年記念クルーズを。左から、料理プロデューサー・山富徳さん、コンチエルトクイーン宇都賀子さん、南部錦之介サン・グループ代表



ある集い

神戸“アスリートタウン”クラブ(KATC) 体を動かす楽しさを感じる街に

平成11年度 神戸“アスリートタウン”クラブ総会



満1周年のKATC総会で

震災後、神戸市より発表されたプロジェクトのひとつである「神戸アスリートタウン構想」の理念にもとづき、この構想の実現を願う人々が集まり、市民レベルで推進していく組織として、昨年の四月十七日に発足したのが「神戸アスリートタウンクラブ」(会長：皆木吉泰・前神戸市医師会会長)である。

KATCには、事務局、事業企画部会、調査研究部会、情報整理部会、広報部会、スポーツボランティア推進部会の各部があり、運営委員会で企画、運営方針が決められ、会員と共に活動を行っている。

発足後一年間の主な活動として、昨年五月に開催された第一回ハロー・ライフ・フェアに参加、十月に行われたスポーツ・コンディショニング・フェアにはクラブとして運営にも携わった。また、今年一月には「健康と栄養」の講演会を主催、他にもスポーツや健康に関するイベントに積極的に参加協力をしている。

思いっきり体を動かした後の爽快感を体験した人は多いはず、どの世代の人でも誰でもそれなりに、健康をベースにした体を動かす環境が整つた街にしよう!というのが、KATCの熱い思いである。

そして、震災で大きなダメージを受けた神戸の街が「元気」な街として次の世代にバトンタッチされ、二十一世紀に存在することを強く願っている。

去る六月十七日には、満一年を迎えたKATCの総会が「健康ライフ・プラザ」で開催され、神戸市の前野保大助役をはじめ、多くの人々が参列し、今後のKATCの活動に熱いエールを送った。

■連絡先・入会申し込み先／神戸アスリートタウンクラブ事務局
神戸市中央区東町116・1シティライフ三宮ビル6F

FAX078・331・8662

〈KATC広報副部長 田上亜紀子〉

神戸武夷登山会

国境を越えた再度山早朝登山



満60周年記念祝賀会員大会での登山記録の表彰者

烏龍茶の産地で有名な中国福建省の名勝「武夷山」の名前を頂いた「神戸武夷登山会」が、体育を奨励、精神修養を主旨とする目的で、一九三五年に福建公所（JR元町駅西口前）において創立されました。

創立して三年目の一九三八年に中日戦争が始まり、同年神戸大水害による一年間の休会、戦争末期の神戸大空襲、食糧難等でも二年間の休会。しかし、阪神・淡路大震災のときは家屋は被害を受けたにも関わらず、復興後すぐに登山を始めたことは、登山者の自己の健康管理に対する心構えに敬服するところです。

武夷登山会は創立以来一貫した会則のもと、国籍や民族の違いに関係なく、中日の友好に取り組んできました。これからも日中両国のみならず、世界各国の平和のため、会を通じて一人でも多くの人々と友好関係を持つれば幸せです。

創立以来の総会員は千一百～千三百名にものぼります。六十年度の正会員は二百十一名で、六十年間も続けてこられたのは、全会員のご理解とご協力によるものだと信じております。

本会の主旨に賛同し、自己の健康のため、早朝登山とともに楽しんでいただける方々の入会をお待ちしております。

（神戸武夷登山会会长 詹永年）

■連絡先／神戸市中央区山本通4-23-2
TEL 078-241-5110

竹久夢二

「四つの恋のものがたり」

〈その四〉 最初の恋・未亡人タマキとの出会い

中右瑛

人とめぐり会い、熱烈な恋。ときには激しく、ときには甘美に、恋多き夢二だつた。

しかし、その恋はいつも悲しい結果となつて終結する。

夢二の最初の恋もそうであつた。

明治三十九年十一月一日、早稲田大学にほど近い鶴巻町にエハガキ店「つるや」が開店した。店主は、目の大きい美しい未亡人・岸

タマキ。

開店から五日のこと、長髪の異様な風態の青年が店を訪れた。

それが夢二だつた。

夢二は「つるや」の店先に座っていたタマキを見て、心をときめかせた。それが夢二の初恋といえるものだつた。

それから何日か、夢二が描く肉筆エハガキが「つるや」から売り出されたのだつた。

当時、大学対抗の早慶戦が大人気。それにあやかつて、夢二の野球スケッチ・エハガキは飛ぶように売れたという。

後年の『タマキ回想』によれば、

「つるや開店から五日目、長髪の異様な青年が来まして、鷹治郎のエハガキはないかと尋ねて参り、そんな役者のエハガキなんかない



竹久夢二筆 この絵は、少年十二か月シリーズのうちの秋の図である。
すすきの生い茂った野原。独立した少年が月に向かって叫んでいる
よう見える。童謡詩を絵にしたような図である。

と云いますと、そんなら芸者のエハガキはと云われ、そんなものもありません、と申しました。そんなら何を売るのだと事にて、图案と風景ばかりですと云いましたら、君、そんなものばかりでは商売にならぬではないか、僕が早慶戦のエハガキを描いてやるから売りなさいと、毎日野球スケッチをくれました

人気さしゑ画家といえども、一人身の孤独な青年の前に登場した美しい女性。夢二はごく自然に、その女性と恋に陥つたのだつた。

タマキは夢二より二歳年上。金沢の旧家の娘で、父は富山治安裁判所の判事・岸六郎。タマキは十九歳のとき、日本画家で高岡工芸学校の絵画教師をしていた堀内喜一に嫁いだ。二人の子をもうけたが、夫は若くして病没。タマキは自立を志し、東京にいた兄の岸他丑を頼つて単身上京し、兄の援助で「つるや」を開店したのだつた。

二人の恋は激しかつた。出会いから間もなく一人は電撃的結婚を果たす。夢二は兄・他丑に、自分の戸籍謄本を示しての眞面目な求婚だつたという。

明治四十一年一月、夢二は二十四歳、タマキは十六歳だつた。

タマキと出会つて以来、夢二の絵は激変した。今までの、小学生・中学生向きの明るい健康的な女の子スタイルだつたが、恋に泣

く薄幸の女性が多くなり、まゆ毛のタレ下がつた、目の大きい、憂いのあるやさしい女性像へと変貌していった。

あの夢二特有の、目のうるんだ哀愁のある美人画は、タマキとの出会いがあつて生まれたという。タマキの出現が、夢二芸術を特徴づけ、大きく開花させたのだつた。

やがて夢二式美人画は一世を風靡していくのである。

二人の楽しい生活は夢のよう過ぎていく。結婚して一年後の四十一年二月二十一日、長男・虹之助が誕生。一見、幸福そうな家庭であつたが、この恋はそう長く続かなかつた。やがて離別せねばならない運命となる。

実際のタマキの性格は、夢二が描く病弱なやさしい性格とは大いに違つていた。タマキは社交的で派手すぎ、気性の激しい女性だつた。

一方の夢二は耽美的で、少年のように純真で何事にも一途、気ままなロマンチストとは名ばかりで、感受性強く、我がまま人間だつたという。二人の性格はまるで正反対、喧嘩合ははずはなかつた。

結婚して一年余り過ぎた明治四十二年五月三日、一人は突如、協議離婚した。一児までもうけながらの破局。その原因は何か？ 梦二の浮氣か？

後年の『タマキ回想』によれば、夢二は相当な嫉妬深い男だつたようだ。自分の思うようにならぬと、自暴的になつたという。加えて人気者のわりには収入が少なく、生活費の問題もあつた。離婚届も夢二の一方的な仕業であつた。

その後の二人は不思議な縁に翻弄されるのだった。

離婚して二年後の四十四年五月一日、別れたはずの二人の間に、次男・不二彦が生まれたのだ。二人は離婚後も、同居、別離をくり返し、愛と憎悪の交叉した男と女の不思議な生活がつづいていたのだつた。



セノオ楽譜「ほととぎす」夢二絵画

■中右 瑛（なかう・えい）

抽象画家。浮世絵エッセイスト
1934年生まれ。神戸市在住

〔受賞歴〕行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵蒐集研究の功績により浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞（1998年）など受賞。

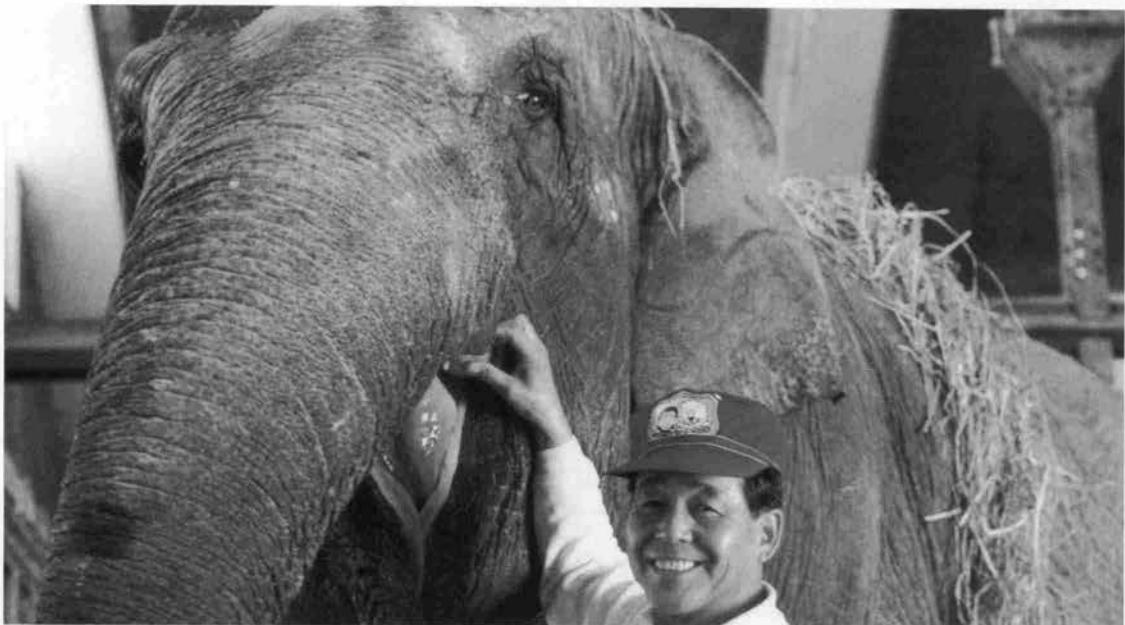
現在 行動美術協会会員 国際浮世絵学会常任理事
著書「抽象画集」「シェリット・リンク」「ミラクルブルーの世界」「浮世絵ミステリー春談」「写楽は18才だった」「忠臣蔵浮世絵」（豆本・夢二黒猫編
譚）がある

ZOOM IN ZOO

ゾウ諏訪子（56才）
最後の歯に生きる！

亀井一成の
ズームインズー

NO.388



おなじみゾウの諏訪子（今年56才）と筆者

1950年9月28日、ゾウの諏訪子（7才）が神戸に来たときには、王子動物園はまだなかったので、兵庫県庁北の諏訪山公園内にあった旧諏訪山動物園に迎えたのです。飼育係は新前のボクは19才でした。

「オイ！カメリ、ストーブが消えているじゃないか」松村副園長の大声。

一日おきの宿直、天井の高いゾウ舎の暖房は「石炭ストーブ」でした。やつとうまく燃やしても、2時間はとてもちません。

その「石炭」の納入も、動物たちのエサも、全て肩に背負って急斜面を運んだのです。その斜面にあった旧諏訪山動物園跡は、子供の公園として今も残っています。

「しまった！」

竹のガンジキ（クマ手）や竹ボーキを、ゾウにバリバリよく食べられたことは忘れられません。

敗戦後の食糧難当時のこと、ヒトが食べるようなイモやニンジンなどとてもやれません。芽の出たものや市場には出せないものばかり、ゴロゴロと大きな樽でよく洗つてやるのです。

ゾウにやる主食は稻わらばかり、厚鎌（草刈鎌のぶ厚い刃のもの）と繩を持って、ゾウの大好物である竹やササ、それにスキを裏山から毎日のよう刈つてきました。

諏訪子が来た翌年1951年3月20日現王子動物園が開園されましたが、ゾウ舎は木造で、夜は前後の足をクサリで繋いでおり、夜には横になるのでクサリが足首を痛めます。毎朝、足首のクサリを左右どりかえてやつたのです。そして3年め、現在のゾウ舎が完成し

野性でのゾウの主食

長い鼻で握ったササを、前足の向こう脛にたたきつけて泥をはたき落としてから

バリバリ ザクザクザク

巨大な草食性のゾウは、起きている限りモグモグ食べないと栄養の維持ができません。

諏訪子が来た翌年1951年3月20日現王子動物園が開園されましたが、ゾウ舎は木造で、夜は前後の足をクサリで繋いでおり、夜には横になるのでクサリが足首を痛めます。毎朝、足首のクサリを左右どりかえてやつたのです。そして3年め、現在のゾウ舎が完成し

樹の皮を剥いで食べるゾウ



たのです。

「カメイさん、えらいことや！大工仕事中にうちのゾウがカンナ（鉋）を食べてしもたんですね」

新しいゾウ舎に移り、ようやく落ち着いた頃、阪神パークのゾウ飼育係の友人からの電話です。「心配いらないよ。

クマ手や竹ボーキの針金や金具は器用に外しているよ」と言つたものの、カシナの刃とは心配がありました。

翌日、「カメイさん、木だけ食べて刀は落ちてたわ」の電話にホッとしたものでした。

ゾウの歯は奥から押しだすように生える

ゾウの歯は白歯だけで、女性の足の裏位の白歯が上下に2個づつあるのです。生まれて約半年位で最初の歯が生



痛んだツメの治療中

は8～10年めというふうに、平均10年に一度は古い歯を押し出し新しい歯が生えるのです。

「どうしたんだ！ 諏訪子！」

少々熱があつてエサを全く口にせず、沈みこむ毎日、時折心配させられました。

が、古い歯が痛くて何も食べられなかつたのです。

やわらかく栄養度の高い近代飼料が長寿に…？

ヒトの場合には最初の歯は乳歯です。そして小学生の頃から永久歯に生え換わりますが、もう2度と生え代わりません。

豊かななった近頃は、青い牧草を買入れ、イモ、ニンジン、リンゴ、バナナ、カボチャ、ミカンに人工飼料をたっぷり食べているので、どこのゾウも丸々肥っています。背中や胸の骨が目立っていた、かつてのゾウたちが哀れでなりません。

ところが56歳を越え、いよいよ老衰が目立ってきた諏訪子が心配です。

「スワ、口を開けろ！」

毎日、痛んだツメの治療にゾウ舎を訪れる獣医さんに、眼を細め我慢する諏訪子はすこぶる元気です。

チャリーン チャリーン

諏訪山の急な坂道を北へ登り、ドライブウェイを、麻耶子と諏訪子の2頭のゾウの背中に乗つて散歩したことが、走馬灯のようによみがえつてきました。

「諏訪子！」元気をだすんや！ 長生きするんやで…。

ウーン、もはや若い頃の歯ではありません。

ゾウは、歯が一生に生え換わる回数は決まっています。最後の歯が抜けることは死を意味する説がありますが、ボクは信じたくありません。

毎年9月15日敬老の日には、長寿動物のお祝いが催されます。昨年も諏訪子とともに祝つてもらったマサイキリの「キリコ」は12頭の子キリンを産み、満30才で、今年の1月8日老衰死しました。

諏訪子の背に乗って（1950年）。前が若かりし頃の筆者

亀井先生撮影のかわいい動物たちの写真（今回はゾウ）を5名様にプレゼントしています！

ご希望の方は、ハガキに住所・氏名・亀井先生へのメッセージ等を書いて月刊神戸っ子「ZOO」係までお送り下さい。





社会全体で高齢者介護を支える 介護保険制度について

お話を伺った方 圓尾 辰夫さん 兵庫県健康福祉部長寿社会課室長(介護保険担当)

すでに日本は高齢社会に突入していると言われ、2025年には要介護の高齢者が約520万人にも達することが予測されています。こうしたことから、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」といった状況を招いたり、介護の長期化、重度化など過度の介護負担が家族を圧迫している姿から「介護地獄」といった言葉も生まれています。そこで、家族だけでなく、社会全体で介護を支えていくことを目的として、介護保険制度が平成12年4月から施行されます。今回はその介護保険制度について長寿社会課室長の圓尾辰夫さんに伺いました。

— 介護保険制度とはどのような制度なのでしょうか

介護保険制度は、家族だけで介護に取り組むのではなく、社会全体で介護を支えていこうとする制度です。これまで保健と福祉が別々に分かれていた介護サービスの窓口を一本化し、給付されるサービスとそれに伴う負担の関係を明らかにして、介護を受ける利用者の希望を生かした介護サービスが、総合的に提供できるように取り組んでいくものです。

— 具体的な仕組みについてお聞かせ下さい

介護が必要となつた場合は市町の窓口へ申請します。そして介護が必要か否かを判定するため、家庭などへ調査員が赴

き、85項目について聞き取り調査を行いますが、その際に特に留意すべき問題点があれば、特記事項として記録します。このうち83項目の調査内容をコンピューターで一次判定し、更に主治医の意見と特記事項を加えた資料を基に、保健、医療、福祉などの専門家で構成される介護認定審査会で審査判定が行われます。そして介護が必要な場合は要支援、要介護1~5までの6つに分けて認定され、原則として申請から30日以内に結果が通知されます。また、この認定結果に不服がある場合は、県に設置される介護保険審査会に不服申立てができます。この要介護認定の受付、調査は来年の施行に先駆けて今年の10月から始まります。

— 保険料はどのようにして納めるのでしょうか

65歳以上の方は、老齢・退職年金が月額1万5千円以上の方は年金から特別徴収(天引き)されます。月額1万5千円に満たない方は個別に納めていただきます。保険料は住んでいる市町村のサービス水準などによって算出されるので市町村ごとに差があります。また40歳から64歳までの方は、医療保険に上乗せして納めていただきます。保険料は被保険者の収入に応じて算出されます。

— サービスはどのようにして受けるのですか

適切な介護サービスが利用できるようになりますが、その際に特に留意すべき問題点があります。この介護支援専門員とご本人、ご家族が相談しながら介護サービス計画を作成します。この計画をご本人が作成することも可能で、これにより、最初から1割の負担で各サービスが利用できます。計画を立てずにサービスを受ける場合は、一旦利用料の全額を負担し、事後9割が払い戻されることになります。

介護サービスは、在宅サービスと施設サービスに大きく分かれます。要支援状態の認定を受けた方は在宅サービスしか受けられません。要介護状態の方は両方のサービスの中から選択することができます。ただし、40歳から64歳の方は、要介護の原因が、初老期痴呆、脳血管疾患など老化が原因とされる15種類の病気の場合のみにしか介護サービスを受けることができません。また、在宅サービスの場合、要支援及び要介護1~5の段階に応じて、利用できるサービスの限度額が定められます。

なお、要介護認定は原則6ヶ月毎に見直しが行われます。

我が国の高齢化が世界に例を見ない速さで進展しているなか、介護の問題はいつも誰が直面してもおかしくありません。介護保険制度の施行を前に成熟社会にふさわしい介護のあり方について、みんなで考えてみる必要があるのではないかどうか。



神戸ファッショントピカル大学OBによるグループ 神戸のファッショントピカル都市化をめざす

K.F.S.NEWS 201

コウベ ファッショントピカル ソサエティ

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246
FAX.078-331-2795

KFS25周年記念講演と祝賀会開く



講演する今岡寛和さん



神戸市鶴崎産振局長より表彰を受ける石原会長(左)

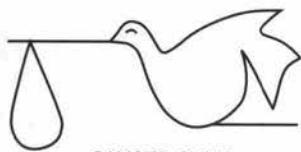


今岡さんを囲んで

神戸がファッショントピカル都市化をめざし、神戸ファッショントピカル大学のOBがKFS（石原暁美会長）を創って25周年。7月10日ホテルゴーフルにおいて今岡寛和さんの「祝祭ルミナリエを語る」講演と祝賀会が開かれ、21世紀に向け、新たなる出発を始めた。



25周年を喜ぶゲストと会員たち



SAMOTO CLINIC



ママといっしょに



あかちゃん：森本倫太郎くん

(平成11年3月31日生まれ)

父：修さん

母：真由美さん

「強く、たくましく育ってね」

★佐本産科・婦人科★
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)
市バス上沢4停南スグ
●駐車場完備●

神戸を福祉の街に

〈295〉

胎児の生命をサボートする活動を始めた円ブリオ神戸

神戸まつりが行われた七月二十日に、

ポートアイランドの国際会議場で元N

H.K.アナウンサーで現青森県立図書館、

青森近代文学館館長の鈴木健二氏の講

演が行われた。

鈴木氏は自分の人生で出会ったさま

ざまな人たちとの交流のなかから「他人のために何をしていくか」が生きていく上で大切な一つのことだというこ

とを学び、「意味なく生存している人間はいない」と考えるようになり、そこから、この世に生を受けることを拒む中絶やビルの使用には反対だという思いを語った。

この講演会を計画したのは「円ブリオ神戸」という小さなグループである。エンブリオというのは英語の embryo 0、すなわち八週までの胎児のことであり、母体内の胎児の命を尊重し、支援していくこうという主旨で発足した活動である。この円ブリオの名付け親が鈴木健二氏である。兵庫県は大震災を機に全国の自治体で初めて「災害時における胎児への奨励金や寄付金」の支援を定めている。円ブリオ神戸は、この兵庫県で小さな生命へのやさしさをひろげ、いのちに優しいまちになることを願って活動を始めたばかりである。具体的には一口一円の「円ブリオ基金」を家庭や学校、地域に広め、一人でも多くの赤ちゃんの命を救済することと、ビルの弊害を訴える生命尊重学習

ビデオ「ビル先進国英國からの警告」を県下各地で上映し、十代をビルから守る運動を開いていくことを当面の目標としている。

経口避妊薬ビルは六月に承認され、八月末には製薬会社九社から十六品目

が市場で販売されることになった。しかし、アメリカでは副作用を避けるために、ビルの服用者が大幅に減少しており、イギリスでは年間百八十人がビルにより死亡し、「子どもたちにビルを飲ませることに反対する親の会」が結成され、集団訴訟が起きている。

前述のビデオはビル解禁に踏み切った英國で起こっている若者の悲劇と環境ホルモン・ビルについて現地取材をしたもので、円ブリオ神戸で貸し出し

をされている。

■連絡先
円ブリオ神戸
神戸市中央区北長狭通8-1-8-903
TEL&FAX 078-371-0788
ストーゲンは発育期の骨形成にも悪影響をおぼすといわれている。さらにビルは内分泌から乱物質として胎児や次世代の子どももた

橋本 明
（社団法人家庭医連携
促進協会事務局長）

ちにさまざまな影響を与えると警告をしている人たちも多い。

日本でもビルが医師の処方箋で手に入るようにになったからは、アメリカ

やイギリスのように十代の若者たちがたどつた苦い経験や悲しみから教訓を学び、被害を最小限に止める教育を家庭や学校、地域でこれから行なつていかねばならないだろう。ビルについて学ぶことでもある。



震災時にお母さんのおなかにいた中島利沙ちゃん(4歳)に援助金が贈られ、この日は利沙ちゃんから講師の鈴木健二さんへ花束が渡された



講演会で「円ブリオ基金」への協力を呼びかけた

有馬歳時記

「多くの方に、まず知つていただきたい」

ボランティア活動を通して

兵衛向陽閣女将
風早笙子さん



売店の一角に女将の手作りの品が並ぶ



会愛の手運動に寄付させていただきます」とのポスター。

太閤秀吉が「兵衛」と名付けたという老舗の旅館「兵衛向陽閣」。大女将の風早笙子さんは、有馬温泉の女将たちでつくった「こぶしの会」初代会長などを務めた大ベテラン。女将業のほかにもさまざまな活動に取り組む風早さんは、団体で、個人で、幅広くボランティア活動をしている。

「女将だから、お客様がいらっしゃるからできるボランティアがあるので思つて」という女将を取材した。

人形筆、炭酸せんべい、有馬籠などさまざまな有馬みやげが並ぶ売店の一角の小さなスペースに、女将の手作りの手芸品が並べられている。「女将手作りコーナーの売上金は、社団法人家庭養護促進協

もともとボランティア活動に熱心だった女将は、十四年前「有馬友の会」を発足、年四回ほどのチャリティーバザー、ガレージセールなどをを行い、有馬福祉協議会に寄付を続けていた。

そんな中で、さまざまな理由で親と暮らす子供たちを一般家庭が預かり育てる里親運動を展開する民間の児童福祉団体「家庭養護促進協会」の存在を知り、女将は協会の「愛の手運動」への個人的な協力を始める。現在は今年の十二月を目標に、女将の手作り品の売り上げや、フロント、社員食堂に置かれた募金箱への寄付をまとめて全額家庭養護促進協会へ寄付をする予定だ。

メガネ入れ、小銭入れ、ティッシュケースなどの手作りの品は、女将が仕事を終え帰宅してから毎晩少しずつ作るのだ

という。自身の着物の端切れなどを使つ



「下手ですが」と女将

露天風呂とご昼食
ひさご弁当

兵衛向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)

有馬温泉月光園

月光園

TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 游山荘

TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う

ARIMA
SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB

TEL (078) 903-1024

攝津有馬
御所坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

神戸と東山魁夷先生

佐野達眞（元神戸新聞社役員）

芸術論は他に譲つて、神戸と東山魁夷先生との因縁にしばりました。

先生は横浜生まれで、一家は神戸西出町に移住（明治44）し、入江小学校、県立第二神戸中学、東京美校、ドイツ留学（昭和8年）。そして文化勲章授章の日本画壇の最高峰に立たれ、長寿九十歳の生涯で、「澄み切った清冽な美」の名作を残されました。

神戸での第一回展は「東山魁夷代表作品展」（昭和38）でした。「東山魁夷・私の森展」（平成5年）まで、なんと十五回、全国一の催事数でした。私は第一回展より十三回の「わが旅の道」（平成3年）まで担当しました。先生は神戸新聞田中寛次社長と「うま」が合い、新宮殿壁画のご用命を受け、その準備の

スケッチ旅行の途次、新聞社に立ち寄られ（昭和41）社長室で初めてお目にかかり、以後いよいよせぬご指導に与かりました。田中社長死去のとき、丁重な追悼の手紙をいただき宝物として大切に保管しています。

神戸が日本一の展覧会数のは、先生の神戸に奇する熱い思いからでしょう。

新宮殿の「朝明けの潮」は約二年半を費やし「永遠の生命感をあらわすものとして海と山を描いた」幅十五メートル、高さ五メートルの大壁画でした。

この大小下図、習作過程の「朝明けの潮・京洛四季展」（昭和44）は入場者数新記録、連日神戸大丸店に行列ができるました。京洛四季展の「花明り」「北山初雪」等々、京の四季折々の美の感動は、まだ鮮烈なはずです。

奈良唐招提寺御影堂の障壁画は、開祖鑑真和尚千二百年忌に森本孝順長老が揮毫を発願され、全障壁画完成まで、ほぼ十二年の大事業でした。先生は一切の仕事を止めて海と山の写生に熱中されました。第一期の「山雲濤聲」襖絵二十六面は、群青、緑青という岩絵具を主にした渋い色調の彩色画でした。展観中のある一日、先生は西出町、入江小学校、神戸二中附近を探訪され、お伴しました。入江小学校の生徒を招



右から神戸ポートピア博「東と西を結ぶ展」での東山魁夷先生と森繁久彌氏、筆者（昭和56年3月20日、画廊ボルティコ）

地域文化論

待、解説役もされました。神戸二中同期生瀧川勝一氏、四本潔氏らも来場、神戸つ子賞を贈呈したとき、お礼にいただいたもので、贈呈式にはすみ婦人がご出席されました。

先生は「静唱」をリトグラフ化し、販売収益を震災義援金にご寄付されました。

第三期厨子屏風「瑞光」三面完成「全林月宵」、襖絵四十七面展も開催（昭和55年）。

影堂の前庭に、長老のお言葉を拝借すれば「長く偉業を称え、鴻恩に鳴謝する証のため」碑が建立されました。

「こくさいホール」に「新生の樹」遭作の綾帳ができ、色刷りで新聞紹介されました。

またが、神戸国際交流会館にも「光は海から」の綾帳があり、光る波頭の中には神戸市章が描かれてあるのは、やはり先生の神戸へのご厚志なのでしょうか。

ドイツローテンブルグ都門に彫られた神戸ポートピア博覧会開幕に合わせて、交流会館内画廊「ボルティコ」で

「東山魁夷・東と西を結ぶ展」（昭和56年）を開催、開幕式に出席した俳優森繁久彌氏も会場へ顔を見せて、森繁節を連発、先生は静かな笑顔で応対されました。

神戸市立博物館の一階ロビーにもタペストリー（壁掛）「灘江月明」が掛けられています。開館記念「東山魁夷・中国の旅展」（昭和57年）に披露。安好匠氏が先生のご自宅へ伺候、懇請したわが國唯一のタペストリーです。

さらにもう一つ。月刊神戸つ子編集



「山雲濤聲展」で入江小学生に説明される東山魁夷先生（昭和56年6月27日、大丸神戸店）

ガラスショップ「トアデコ」一周年 黒壁と新たなパートナー宣言



七月二十四日、NHK跡トアガーデンでトアロードまちづくりコーポレーションの創立二周年記念パーティーが開かれ、その事業であるガラスショップ「TOR DECO」の一周年、「TOR ROAD STYLE BOOK」の出版記念もあわせた祝賀会に、関係者らが一堂に会した。

トアロードまちづくりコーポレーションは二年前、トアロード地区のまち

づくりの実行力をもつ組織として協議会の働きかけで出資者三十八人によりスタートした。その後、イラストマップの発行、ガラスアートショップやギャラリー、カフェ、ガーデン、トアロードスタイルブックの出版など積極的な活動を進めてきた。中でもガラスショップ

「TOR DECO」は、同様のまちづくりで成功を収めた長浜市の「黒壁」からバッカアップを受けるかたちでスタートし、店頭に花や緑をふんだんに飾るなど、トアロードのモデルショップとしても地域に大きな影響を与えてきた。

当日は黒壁の創立十周年記念日でもあり、代表者である笛原司朗氏より

「わずかな期間で大きな成果をあげられ深い感動を覚えます。これからは黒壁プロデュースを脱皮したパートナーとしてやっていきましょう」と祝いのメッセージが届いた。コーポレーションの清水俊夫社長は「協力しあうもの同志が同じ日に記念日を迎えるのは本

当に喜ばしいこと」と感激を表したう

づくりの実行力をもつ組織として協議会の働きかけで出資者三十八人によりスタートした。その後、イラストマップの発行、ガラスアートショップやギャラリー、カフェ、ガーデン、トアロードスタイルブックの出版など積極的な活動を進めてきた。中でもガラスショップ

「TOR DECO」は、同様のまちづくりで成功を収めた長浜市の「黒壁」からバッカアップを受けるかたちでスタートし、店頭に花や緑をふんだんに飾るなど、トアロードのモデルショップとしても地域に大きな影響を与えてきた。

当日は黒壁の創立十周年記念日でもあり、代表者である笛原司朗氏より

「わずかな期間で大きな成果をあげられ深い感動を覚えます。これからは黒壁プロデュースを脱皮したパートナーとしてやっていきましょう」と祝いの

メッセージが届いた。コーポレーションの清水俊夫社長は「協力しあうもの

同志が同じ日に記念日を迎えるのは本

当に喜ばしいこと」と感激を表したう



トアデコの商品のオークションも行われ、盛り上がりを見せた

★クラフトアートフェア'99開催迫る

待ちに待った「トアロードクラフトアートフェア」が10月9日(土)・10

日(日)にいよいよ開催される。

今年度は神戸ジャズストリートや旧居留地返還一〇〇年祭等のイベントと連動して、さらにスケールアップした

フェアが期待できそうだ。4月末にオ

ープンしたばかりのトアガーデンを中心に、トアロード沿いに約50ブースも

の質の高いアーティストの作品が並び、オークションや吹きガラスの体験、

ヘアカットバフォーマンスなど楽しい

イベントが盛りだくさん。さらに今年

は、トアウエスト側の車道が歩行者天国になるなど、ちょっととした外国気分が味わえそうだ。

なお、9月29日から10月7日までは、

「まちかどギャラリー」としてトアロード、元町地区の各店舗のショーウィンドウに出店者の作品が飾られるか

ら、気に入った作品を見つけておくのもいいかも。



今年度のクラフトアートフェアのリーフレットイメージ

■アジア・レポート

豊饒な自然、穏やかな人々、光輝く島 スリランカ

文・近藤直子（写真も）

神と仏、自然と人とが共存する 穏やかな他民族国家

その昔、マルコポーロはこのインド洋の小さな島を「世界で一番素晴らしい場所」と賛美した。豊かな自然と共存して栄えてきたこの国は、長いヨーロッパ植民地時代を経ても変わることなくその美しさを保ち続けている。一步足を踏み入れた途端、多くの人は懐かしきおおらかな時の流れの虜になってしまうという。まさにそこはSRI LANKA MATA(母なるスリランカ)なのだ。

スリランカは多民族が共存している国である。人口の約七十%が仏教徒で、シンハラ人。主にタミル人が多いヒンドゥー教徒は約十五%，残りはイスラム教徒とキリスト教徒が半分ずつ。仏教は上座部仏教（小乗佛教）で、紀元前二世紀にアショーカ王の息子マヒンダによって仏教が伝えられて以来、シンハラ王朝により手厚く保護され、十三世紀以降は東南アジア各地へと伝播するまでに繁栄した。日本人に神仏混淆の気風があるように、この国の人々も宗教に多くの要素を取り入れてきた。佛教国家のシンハラ王朝では、ヴィシヌヌ神などのヒンドゥー教の神々を四大守護神として祀っていた。寺院に隣接、または寺院の中で仏の脇にそれらの神々が祀られていることもあり、現在でも宗教の違いを超えて現世利益を祈願する参拝者も多い。四月十三日はシンハラ歴とタミル歴の新年で、この日は国民共通の祝日だ。仏陀の生誕、悟り、涅槃を記念する満月の日も、クリスマスも、祝日である。暦を見ればスリランカ人のおおらかな国民性がよくわかる。

歴代王朝が遺した壮大な遺跡群 ロマン漂う文化三角地帯

スリランカの仏教遺跡は印象に残る。だからといって、決して派手という訳ではない。心の中に自然に、しかもストレートに入ってくるのだ。スリランカでは寺院の中に入る際には靴を脱ぎ脱帽しなくてはいけない。黄色く輝く強烈な日差しの下、熱い敷石を直に歩くと、祝迎はこのような熱い地で悟りを開かれたのだ、という素朴な思いが湧き起こる。五千人の僧が遠くは中國からも学びに来ていたというアヌーダプラ。クッタム・ボクナ（沐浴場）に残る水を眺めていると、僧達の祈りの声が聞こえてくるようだ。



アヌーダプラのクッタム・ボクナ（双子の沐浴場）。僧院で修業していた僧たちの2つの大きな木浴槽

輝く青い海、潮風にそよぐヤシ ビーチで過ごす優雅な時の流れ

ウダワラウエ国立公園のサファリを幌なしジープで勇ましく走つてみると、昨日までの寒さが幻のように思えてくる。バードウォッキングやエレファントウォッチングを楽しんだ後、さらに南下して南西海岸に出た。一日の間にこれほど景色が移り変わるとは。青い海、うち寄せる白い波、ベージュ色の砂浜、ヤシの林。これから二日間かけて、ゆったり、のんびり、ハンバント

キャンディ観光の目玉、ペラデンヤ植物園。総面積5.6km²の広大な敷地に4000種以上の植物が

タからゴール、コロンボへと海岸沿いを北上するのだ。

ゴールはボルトガル人が初めて砦を開き、その後東インド会社で繁栄を築いたオランダ人が砦をさらに広げていった港町。時計台、要塞、灯台などを巡るうちに、歩調が自然とゆったりとしていく。どんな時代にもこの潮風だけは変わらなかつたのだろう。ムスリム(イスラム教徒)の町、ベルカラではマングローブの密林が生い茂るベントタ河をさかのぼるクルーズが人気だ。海から河へと熱帯らしい木々で覆われた景観がスリリングだ。スリランカはサーキンやダイビング、シュノーケリング、ジエットスキー、カヌー、ボート、フィッシングなど、マリンスポーツのすべてを楽しむことができる。各リゾートではインストラクターがいるので初心者でも安心だ。ただし南西海岸はモーンズの時期があるので、海のシーズンは十一～二月のみ。

//おふくろの味//カレー 家庭の味を楽しもう

家庭の味が一番、というのは万国共通なのだろう。スリランカでは一日三食すべてにカレーが登場する。日本のようなくをすべてごつた煮にはせず、

茄子カレー、豆カレー、チキンカレー、エビカレーなど、一つ一つ素材に合った作り方をする。だから同じ味のカレーは一つとしてない。それらのカレーを何種類かスプーンでご飯と一緒に取り皿に盛つてから、右手の指で一口分ずつよく混ぜ合わせて食べるのだ。指で食べる理由を訊くと、たいてい「ディスティー(美味しいから)」という答えが返ってくる。そう、実に美味しいのだ。数種の少量のカレーを少しづつ丁寧にご飯とミックスすることにより生まれる味わいは実に奥が深い。



コロンボ近郊に住むヴィジェーラ夫妻の食事に招かれた。野菜カレーの数々に感動



スリランカへはスリランカ航空が便利
問) スリランカン エアラインズ リミテッド
東京都中央区銀座7-2-22同和ビル
TEL.03-3575-4263

ナショナルフラッグキャリアであるスリランカ航空は東京の成田から週3便、スリランカに直行便が出ている唯一の航空会社で、そのサービスには定評がある。

バーサービスや、日本料理とスリランカ料理をチョイスできる昼食に、豪華な夜食もつく機内食も人気がある。キャンディアン・サリーをモチーフにしたスチュワーデスの緑色のユニフォームの優雅な趣きもうれしい。日本を結ぶ路線には必ず日本語が話せるクルーが乗務していて、赤色のユニフォームを着ているので、わかりやすい。

●タイムテーブル

<成田発～コロンボ着>
UL455便(月、木、土曜)…13:20発～19:40着
<コロンボ発～マーレ着>
UL103便(月、木曜)…21:00発～21:25着
UL103便(土曜)…20:30発～20:55着
<マーレ発～コロンボ着>
UL102便(水、日曜)…19:45発～22:10着
UL104便(金曜)…18:15発～20:40着
<コロンボ発～成田着>
UL454便(水、金、日曜)…23:50発～11:50着
★7月17日より成田発エアバスA340-300就航
■ツアリズモ・オアシス・ランカ(現地観光局) 941-925445(FAX925528)
E-MAIL: TOURISMO@SriLanka.net
■スリランカ政府観光局(関西支局) 06-6211-2775(FAX兼)



有名な竹の庭も本来は修業の場

鎌倉の名刹、報國寺では毎週日曜日の朝、「日曜参禪会」という座禅会を開き、一般に広くその門を開いているという情報をキャッチ。よせばいいのに、好奇心が服を着て歩いているスタッフのひとりが突撃体験を試みた。

鎌倉駅からバスに乗り、午前七時、報國寺につく。竹の寺として有名なこの寺は、日中こそ人出も多くにぎやかだが、今は禪寺の静かな厳しさを感じる。

本堂に上がり檀家さんたちが交代でつとめる直日という世話人の誘導で記帳をする。榜を貸してくれるのできれいに替える。靴下を脱ぎ、榜のひもをキュッと絞めると気も引き締まる。初心者なので本堂で事前に説明を受ける。当日の参加は、私を含めておじさんが三人。はじめは本堂で入門者だけで「座る」。

カキーンという桟木（たく。拍子木ですな）の音が本堂に響く。思わずビクッとするほどの緊張感が走る。これ

鎌倉駅からバスに乗り、午前七時、報國寺につく。竹の寺として有名なこの寺は、日中こそ人出が多くにぎやかだが、今は禪寺の静かな厳しさを感じる。

からはすべてこの木の音を合図に立居振舞いを行う。続いて引磬（ひき磬）という鐘が四つ。ここから「止静」といつて座禅三昧に入り寂靜の境に止まる時間となる。

香一炷（こういつす）といつてお線香一本が燃える時間、約二十分が一単位。初心者は呼吸に合わせて数を数えるように教えられる。自分が数になつたように、何も考えないで数を数える。一息十秒くらいか。私は数、私は数、と思いながら呼吸していると、不思議な気分になつてくる。鳥の声、木々のゆらぐ音が思のほか大きく聞こえる。信じられないことだが、座禅に慣れれば、お線香の灰が落ちる音まで聞こえるようになるそうだ。ドサッと、かなり大きな音

で響くらしい。
が、俗人には様々な雑念が湧いてくる。「おなかすいた、たばこしたい、きのうのさけがぬけてない？」雑念で揺らいだ私の迷いは座相が崩れることによって見抜かれる。精神状態がフラつくと、身体も震れることがわかる。

「フラフラしない！」余計なことは

日本タウン誌協会共同企画
**編集長
おすすめの旅**
神奈川県鎌倉市



神奈川中央新聞社「リベルタ」
編集長・明石勇一郎

早起きは二文の得か？

鎌倉・報國寺の日曜座禅会体験レポート



「編集長おすすめの旅」は、日本タウン誌協会（事務局・月刊神戸っ子）の会員50社の各編集長が順番に執筆。



「坐禅中につき静慮のこと」の木の立て看板

